

金沢美術工芸大学 令和7年度一般選抜 試験問題

日本画	<p>実技試験Ⅰ（着彩描写） モチーフ「赤い紙の上にレースペーパー」「らせんピン」「容器入りポテトサラダ」「米研ぎ器」「袋麺」「菜花」</p> <p>実技試験Ⅱ（着彩写生及び面接） モチーフ「コピー用紙の上に昆布」「梅干し4種」</p>
油 画	<p>実技試験（木炭デッサン又は鉛筆デッサン） 石膏像ゲタ胸像をデッサンしなさい。背景の有無は自由とするが、試験用紙は縦位置で使用する。</p> <p>作品提出（油彩又はアクリル）・面接 自画像を描きなさい。</p>
彫 刻	<p>実技試験Ⅰ（木炭デッサン又は鉛筆デッサン） 「石膏像 モリエール」をデッサンしなさい。</p> <p>実技試験Ⅱ（塑造及びスケッチ） 「生命を感じる形」と「無機的な形」を組み合わせ、スケッチ及び塑造で制作しなさい。</p>
芸術学	<p>実技試験 モチーフ「レトルト食品」 与えられたモチーフをよく観察し、モチーフの部分または全体を解答用紙(ケント紙)にデッサンしなさい。また、別紙の新聞記事を読み、モチーフと関連付けて想像する自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど、それらのプランの概要を、簡単な図や文章を用いて、モチーフのデッサンとともに解答用紙(ケント紙)に構成しなさい。 なお、モチーフと新聞記事から想像した作品、展示(展覧会)、プロジェクトなどは、自由な発想による実現不可能なものも可能で、アイデアスケッチ、ラフデッサンでもよい。</p> <p>小論文 実技試験問題にある「与えられたモチーフと新聞記事から想像した自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど」のコンセプトを、500字程度に要約し、解答用紙(原稿用紙)に記述しなさい。</p>
ホリスティック クデザイン	<p>実技試験（デッサン） 自身の手、与えられた手袋とハンドタオルを自由に構成して、奥行きを感じさせる描写をしなさい。</p> <p>実技試験（色彩構成） 「自然」と「都市」から発想を広げ、色彩構成をしなさい。画面内に、正三角形を効果的に配置すること。 (正三角形は、単数でも複数でも可。作品のタイトルと意図を説明用紙に100文字以内で記入しなさい。)</p> <p>実技試験（立体構成） テーマ:「纏う(まとう)」 与えられた材料「アルミホイル」と「紙ストロー」、「ケント紙」を用いて「纏う」をテーマに立体を構成しなさい。 (作品のタイトルと意図を説明用紙に100文字以内で記入しなさい。)</p>
インダストリアル デザイン	<p>実技試験（鉛筆デッサン） 「折りたたみヘルメット」「プラスチックコンテナ」「木材」「ステンレスカップ」「タオル」を描きなさい。</p> <p>実技試験（色彩表現） モチーフ(T型カミソリ)の形の特徴を捉えて自由に構成し、美しく色彩表現しなさい。</p> <p>実技試験（立体表現） 与えられた粘土を全て使い、シンプルで美しい抽象形態で「躍動」を立体表現しなさい。</p>
工 芸	<p>実技試験Ⅰ（鉛筆デッサン） 「食パン」「バナナ」「アボカド」「ワイングラス」「スプーン」「紙ナプキン」「布」をモチーフとし、下記の条件に従いデッサンしなさい。</p> <p>実技試験Ⅱ（立体表現） 「手の要素」を用いて自由に立体表現をしなさい。</p> <p>実技試験Ⅱ（色彩表現） 「虚と実」をテーマとして与えられたモチーフを条件に従って構成し、色彩表現しなさい。 モチーフ「ラナンキュラス」「プリズム」「和紙」</p>

令和7年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部
美術科 油画専攻 一般選抜入学試験

実技試験

(木炭デッサン又は鉛筆デッサン)

問題

石膏像ゲタ胸像をデッサンしなさい。
背景の有無は自由とするが、試験用紙
は縦位置で使用するここと。

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 彫刻専攻

令和7年度 一般選抜

実技試験Ⅰ 木炭・鉛筆デッサン（令和7年3月11日実施）

試験問題

「石膏像 モリエール」をデッサンしなさい。

〔試験問題〕

「生命を感じる形」と「無機的な形」を組み合わせ、
スケッチ及び塑造で制作しなさい。

〔課題1〕 スケッチ

与えられた画用紙に試験問題から触発されたイメージを鉛筆で表現しなさい。スケッチは塑造を前提としていること。また、下の①に「生命を感じる形」のモチーフ、②に「無機的な形」のモチーフ、③に2つのモチーフを使って何を表現したか、一文もしくは題名を記入しなさい。

(8:30~12:00) 配点・200点

①

②

③

〔課題2〕 塑造

試験問題にしたがって、設定した2つのモチーフを組み合わせた立体作品を制作しなさい。

(10:30~16:45 その内休憩 12:00~12:45) 配点・500点

* 作品を制作する過程で、スケッチに描いたイメージや構成は変わっても構わないが、
〔課題1〕で回答した設定から変えてはならない。

* 試験開始後10時30分まではスケッチを描くこと、10時30分以降は塑造、スケッチどちらの制作をしても構わない。ただし〔課題1〕の画用紙と問題用紙(設定したモチーフ及び題名)は12:00に回収するので注意して下さい。その際、問題用紙(設定したモチーフ及び題名)をスケッチ用カルトンのクリップに挟んで下さい。

令和7年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻
一般選抜入学試験

実技試験問題

与えられたモチーフをよく観察し、モチーフの部分または全体を解答用紙(ケント紙)にデッサンしなさい。また、別紙の新聞記事を読み、モチーフと関連付けて想像する自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど、それらのプランの概要を、簡単な図や文章を用いて、モチーフのデッサンとともに解答用紙(ケント紙)に構成しなさい。

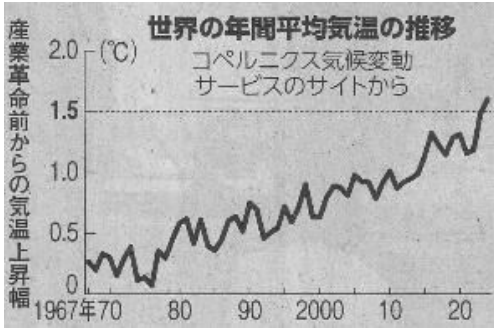
なお、モチーフと新聞記事から想像した作品、展示(展覧会)、プロジェクトなどは、自由な発想による実現不可能なものも可能で、アイデアスケッチ、ラフデッサンでもよい。

2024年 世界の平均気温 1.6 度上昇 気候変動目標 1.5 度を超過

産業革命前から単年度では初

2024年の世界の平均気温は産業革命前からの上昇幅が1.5度をを超えたと、国連の世界気象機関(WMO)と欧州連合(EU)の気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス(C3S)」が10日、それぞれ発表した。気候変動対策の国際ルール「パリ協定」は気温上昇幅を1.5度に抑えることを目標にするが、その基準を単年で初めて超えたことになる。

パリ協定の目標評価における気温の値は、複数年の平均を使う傾向がある。専門家や各国



政府の間では単年では抑制失敗とは解釈しないが、地球温暖化の危機の進行がデータで示された形だ。

C3Sが地球の大气、陸、海の気象情報を時間単位で解析したデータによると、24年の世界の平均気温は15.10度で過去最高だった。産業革命前のデータとして一般的に用いられる1850〜1900年と比べて1.60度上がり、これまで最高だった2023年

の1.48度を大幅に上回った。人間活動による温暖化に加え、特定の地域の海水温が高くなるエルニーニョ現象などが影響したとみている。

一方、WMOは日米欧の気象当局などによる六つの観測データを基に、24年の平均気温は1.850〜1900年比で1.55度上昇したと分析した。パリ協定のもとで各国が対策を進めているのは、産業革命前からの気温上昇が1.5度を超えれば猛暑や豪雨の頻度が高まるという研究結果があるからだ。

国連のグテレス事務総長は「単年で1.5度の制限を超えたからといって長期目標を達成できないわけではないが、軌道に乗せるためにはさらに厳しい努力が必要だ」とコメントした。

(市野塊、松山尚幹)

【2025年(令和7年)1月12日(日)、朝日新聞、朝刊】

- ・ 朝日新聞 2025年1月12日付、朝刊を改変
- ・ 二次利用 許諾番号 : 25-1100
- ・ 朝日新聞社に無断で転載することを禁じる

令和7年度
金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻
一般選抜入学試験

小論文試験問題

実技試験問題にある「与えられたモチーフと新聞記事から想像した自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど」のコンセプトを、500字程度に要約し、解答用紙(原稿用紙)に記述しなさい。

令和7年3月6日

令和7年度

受験番号

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 デッサン

【 問題 】

自身の手、与えられた手袋とハンドタオルを自由に構成して、
奥行きを感じさせる描写をなさい。

【 条件 】

- ・ 手袋をつけない手、手袋を着けた手はどちらも画面に構成してください。
- ・ 画用紙の縦横は自由とします。

以上

令和7年3月6日

令和7年度

受験番号

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 色彩構成

【 問題 】

「自然」と「都市」から発想を広げ、色彩構成をなさい。画面内に、正三角形を効果的に配置すること。

(正三角形は、単数でも複数でも可。作品のタイトルと意図を説明用紙に100文字以内で記入しなさい。)

【 条件 】

- ・ ボード全面に着彩しなさい。
- ・ ボードの縦横は自由とします。
- ・ ボードの裏面中央に矢印(↑)を記入しなさい。矢印方向が「上」になります。
- ・ 与えられたA4用紙は下書き用です。

以上

令和7年3月7日

受験番号

令和7年度

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 立体構成

【問題】

テーマ:「纏う(まとう)」

与えられた材料「アルミホイル」と「紙ストロー」、「ケント紙」を用いて「纏う」をテーマに立体を構成しなさい。

(作品のタイトルと意図を説明用紙に100文字以内で記入しなさい。)

【条件】

- ・立体のスケール感を表す人型(形状は問わない)をケント紙で作成し、台紙(A3段ボール)に接着すること。
- ・モチーフを含む立体物の大きさは台紙(A3段ボール)の幅・奥行き内に収め、高さ30cmを超えないこと。
- ・与えられたA4用紙は形の検討や考えをまとめるなどに使用すること。

以上

令和7年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部

デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

実技試験 鉛筆デッサン 問題用紙

受験番号	
------	--

問題：

「折りたたみヘルメット」「プラスチックコンテナ」「木材」
「ステンレスカップ」「タオル」を描きなさい。

条件：

1. 全てのモチーフを画面に納めること。
2. モチーフの下の白い台は描かないこと。
3. 用紙の縦横は自由とする。

注意：

1. 試験問題に関する質問は受け付けない。
2. 問題用紙の空欄はメモに使用し、受験番号を記入し画用紙と一緒に提出すること。
3. 画用紙は受験番号枠側を裏面とし、デッサンは表面に描くこと。

問題：

モチーフ(T型カミソリ)の形の特徴を捉えて自由に構成し、美しく色彩表現しなさい。

条件：

1. 与えられたモチーフの形状を自由に使って構成すること。
(モチーフの用途・機能は考慮しなくてよい) ※包み紙は剥がすこと
2. モチーフの色・素材を自由に変えて描いてよい。
3. モチーフはいくつ描いてもよい。
4. モチーフの拡大縮小は自由に行ってよい。
5. モチーフは画面からはみ出してもよい(トリミングしてよい)。
6. ボードの裏面中央に作品の上方向を矢印(↑)で記載すること。
7. 画面内に塗り残しを作らないこと。
8. 用紙の縦横は自由とする。
9. 作品説明シートに作品の意図を140文字以内で記述すること。

配布物：

1. KMKケントボード A3 3mm 白 1枚
2. 問題用紙
3. 草案用紙2枚(足りない場合は裏面を使用すること)
4. モチーフ(T型カミソリ)2本
5. 作品説明シート

注意：

1. 試験問題に関する質問は受け付けない。
2. マスキングテープの使用は認めない。
3. 色見本帳の使用は認めない。
4. ケントボードは番号枠のある側を裏面とし、色彩表現は表面に描くこと。
5. 配布物は全て試験終了後に回収する。
6. 筆洗の廃水は、教室の流し台に捨てること。

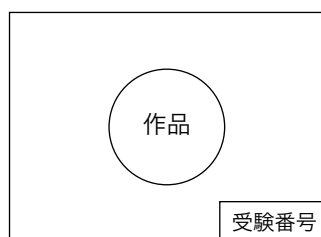
問題：

与えられた粘土を全て使い、シンプルで美しい抽象形態で「躍動」を立体表現しなさい。

- 条件：
1. 造形物の表面は平滑に仕上げること。
 2. 接地面を設け、容易に転倒しない形態にすること。
 3. 作品は粘土板(小)からはみ出さないこと。
 4. 作品は粘土板(小)に載せた状態で提出すること。
 5. 作品説明シートに作品の意図を140文字以内で記述すること。

- 配布物：
1. 粘土3kg
 2. 粘土板(大)
 3. 粘土板(小)
 4. 雑巾
 5. ヘラセット(金切鋸刃・切り弓・彫塑ベラ・平線かきベラ)
 6. 霧吹き
 7. バケツ(水入れ用)
 8. 問題用紙
 9. 草案用紙2枚(足りない場合は裏面を使用すること)
 10. 作品説明シート

- 注意：
1. 試験問題に関する質問は受け付けない。
 2. 配布物は全て試験終了後に回収する。
 3. 粘土板(小)に受験番号を右手前として作品を配置し、提出すること。(下図)



作品正面

令和7年度 金沢美術工芸大学 工芸科

実技試験Ⅰ「鉛筆デッサン」

問題

「食パン」「バナナ」「アボカド」
「ワイングラス」「スプーン」「紙ナプキン」「布」

をモチーフとし、下記の条件に従いデッサンしなさい。

条件

- ・画面は縦位置、横位置自由とする。
- ・合板上にモチーフを自由に配置すること。
- ・モチーフの扱いは自由とする。ただし、モチーフを切るとは禁止する。
- ・「食パン」のクリップを外すこと、袋を開けることを禁止する。

注意

- ・構図を考える時は、配布した草案用紙を使用し、持参した紙やスケッチブック等は使わないこと。
- ・モチーフと問題用紙、草案用紙は試験終了時に回収する。
- ・この問題に対する質問には応じない。

配布物

- ・問題用紙：1枚
- ・モチーフ：「食パン」1袋、「バナナ」1本、「アボカド」1個、
「ワイングラス」1個、「スプーン」1本、「紙ナプキン」2枚、「布」1枚
- ・草案用紙：5枚
- ・合板：1枚

令和7年度 金沢美術工芸大学 工芸科

実技試験Ⅱ「立体表現」

問題

「手の要素」を用いて自由に立体表現をなさい。

条件

1. 「手の要素」の解釈、数、大きさ、扱いは任意とする。
2. タイトル記入用紙に解答作品のタイトル、受験番号を記入すること。
3. 使用する水粘土の量は与えられた範囲内とする。
4. 解答作品は塑像板（小）の上に置くこと。また板からはみ出さないこと。

注意

1. 解答作品は試験終了後に採点場所に移動するため、作品が倒れるなど破損がないよう留意して制作すること。
2. 募集要項に指定されている持参用具と机上に準備されている用具以外は使用しないこと。
3. 配布されたヘラは加工しないこと。
4. 水粘土の中に異物を入れないこと。
5. 用具、問題用紙、草案用紙など配布されたものを持ち帰らないこと。

配布物

水粘土、練り用粘土板（大）、塑像板（小）、塑像用具一式、霧吹き、雑巾2枚、水入れ、
タイトル記入用紙、草案用紙5枚

令和7年度
金沢美術工芸大学
工芸科
実技試験Ⅱ「色彩表現」

問題

「虚と実」をテーマとして与えられたモチーフを条件に従って構成し、
色彩表現しなさい。

条件

- ・モチーフは「ラナンキュラス」、「プリズム」、「和紙」とする。
- ・画面内でのモチーフの数、大きさ、表現方法は自由とする。
- ・画面は縦位置、横位置自由とする。
- ・試験終了までに画面の表側、上部中央付近に天地を現わす●印を鉛筆で記入する事。

注意

- ・「ラナンキュラス」に付属しているシリコン容器はモチーフではない。
- ・草案用紙を配布するので、持参した紙やスケッチブック等は使用しない事。
- ・問題用紙、草案用紙、モチーフは試験終了後に回収する。
- ・この問題に対する質問には応じない

配布物

- ・問題用紙：1枚
- ・モチーフ：「ラナンキュラス」1本、「プリズム」1個、「和紙」1枚
- ・B3バロンケントボード：1枚
- ・草案用紙：5枚